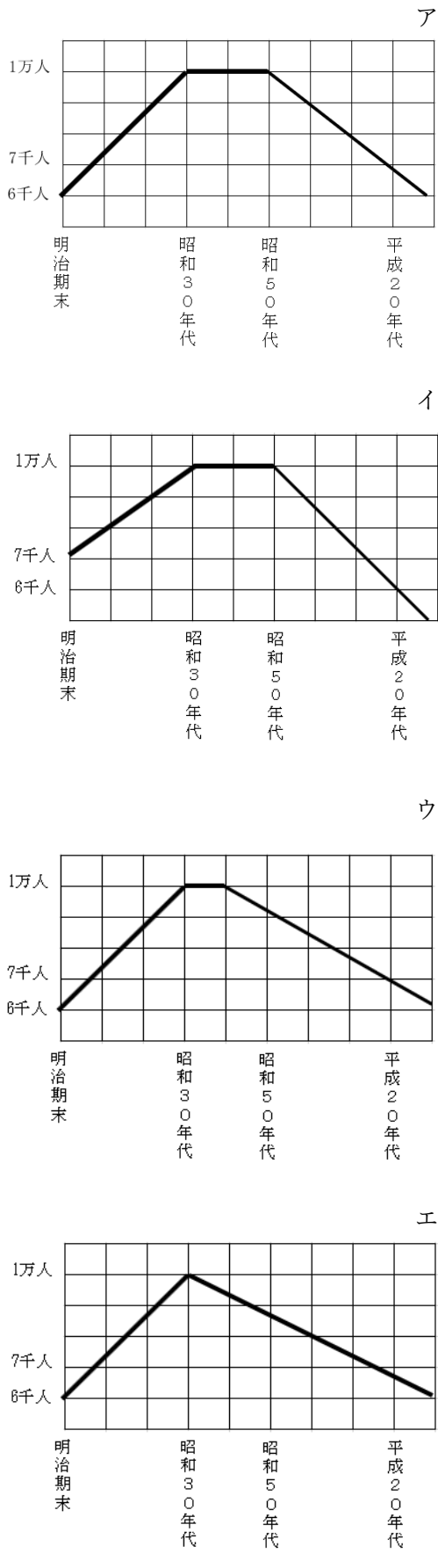


(注) *「探られる島」

家島という離島で行われていた地域活性化プロジェクト。

問1 家島地区の人口の推移として最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。



問2 家島の人たちが抱えていた観光に関する課題の説明として最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア お金をかけて観光施設を作ったにも関わらず、施設の維持費が島の人たちの負担になっていったということ。
- イ 桜の名所や美しい海辺が望める広場などを島の外の人にアピールしたくても方法が見つからなかったこと。
- ウ 自分たちが大切にしている場所や行事を壊してまで観光業に力を入れたくないという反対意見があったこと。
- エ 全国の人たちの目を家島に向けさせるような「分かりやすい観光資源」があるとはいえなかったということ。

問3 「探られる島」の取り組み内容について、「く」取り組み」に続く形で十五字以上二十五字以内で説明しなさい。

- 問4 若者たちが家島の屋外の風景に魅力を感じたきっかけとして最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。
 - ア 島全体が一軒の家に見えるように家具を配置していたこと。
 - イ 屋外の風景なのに家の中にいるような気持ちになったこと。
 - ウ 古い家具を廃棄せず、別の用途で使用していること。
 - エ 都市部の「当たり前」が通用せず、衝撃を受けたこと。

問5 若者が感動した民泊に関する出来事について、「豪華な料理」や「大人数での宴会」以外のものを答えなさい。

問6 この文章の内容に合致するものを次のア～カから二つ選び、記号で答えなさい。

- ア 二十一世紀の公共事業縮小がきっかけとなって、家島の人口減少が始まった。
- イ 家島では既存の産業が衰退したため、新たな地域産業を生み出そうとした。
- ウ 海風による劣化を防ぐため、家島では農機具を冷蔵庫で保管していた。
- エ 家島には、島の外から来た人たちのことを皆で歓迎する行事があった。
- オ 若者達が島の人のために家島の魅力になるものを一から作り上げた。
- カ 家島の人たちは島の魅力が思ってもみなかったことの中にあると知った。

※スクリプトは、寛裕介監修『地域を変えるデザイン』より作成しました。著作権の関係により、掲載はできません。

二 次の各問いに答えなさい。

問1 次の文に関する後の問いに答えなさい。

① 激しい戦いが終わり、英雄は街に②戻った。

(1) この文は全部でいくつの文節に分けられますか。次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 五 イ 六 ウ 七 エ 十

(2) 部①と同じ品詞に傍線が引かれているものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 朝日が美しく輝いている。 イ 少し休んだほうがいい。

ウ その店員は静かに笑った。 エ 祖母は病気で寝ている

(3) 部②の動詞の活用の種類を次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 上二段活用 イ 下二段活用 ウ 五段活用 エ 変格活用

問2 次の()に入る漢字を【 】から一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。ただしとも同じ記号は一度しか使えません。

(1) 【ア 採 イ 撮 ウ 取 エ 捕】

①品物を手に()る。 ②山菜を()りに行く。

(2) 【ア 異義 イ 意義 ウ 異議 エ 威儀】

①()を申し立てる。 ②()のある話だった。

問3 次のA・Bに入る漢数字の組み合わせを【 】から一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。なお同じ記号を何度使っても構いません。

(1)ゲームが買ってもらえる誕生日を(A)日(B)秋の思いで待つ。

(2)彼のような技術は(A)朝(B)夕には身に付かないだろう。

(3)(A)進(B)退の攻防が繰り返られるという決勝にふさわしい試合だった。

【ア…A 一 B 一 イ…A 百 B 百 ウ…A 二 B 三 エ…A 七 B 八 オ…A 一 B 千】

三

次の文章は海音寺潮五郎「善助と万助」の一節です。大名である黒田家に古くから仕える侍、母里但馬友信(幼名を万助)は、若手の同僚、桐山丹波とささいな行き違いがあり、そのことで丹波を憎んでいました。主君である黒田長政は但馬に和睦(仲直り)を命じましたが、若年より剛勇で頑固ものの但馬はその命令をも拒絶してしまいます。困り果てた長政は、同じく老臣の栗山備後利安(幼名を善助)に説得をうながす、という場面です。文章を読んで、後の問いに答えなさい(ただし設問の都合で本文を一部変更していません)。

※問題文は、著作権の関係により掲載ができません。

※設問文の、著作権の関係により掲載ができない箇所は「***」と表記しています。

(注) ※1 お直き

貴人が自ら物事を行うこと。ここでは主君の直接の命令を指す。後文の「おん直き」も同様である。

※2 沙汰の限り

是非を論じる範囲を超えていること。論外。 ※3 徒士か若党 いずれも身分の低い武士、従者。

※4 料簡

思慮、分別。考えをめぐらすこと。 ※5 承引はいたすまじ 承知しないつもりだ。

※6 拙者

男子、多く武士の一人称。わたし。 ※7 如水様 黒田家の先代の当主。黒田如水。

※8 折檻

厳しくしかり、こらしめの罰を加えること。 ※9 人がましくなる 人物として知られるほどになる。

※10 脇差を脱して

小型の刀を外して。 ※11 肴 酒を飲む時に添えて食べる物。

※12 佩刀

刀を腰におびること。また、その刀。

問1 部 a と e について、カタカナは漢字に直し、漢字はその読みをひらがなで答えなさい。

問2 部(1)～(3)の文中の意味として最も適切なものを後のア～エから一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

- (1)「ひらめき」 ア 揺れ動き イ 瞬間的に動き ウ 地面と平行に飛び エ するどく光り
(2)「情なく」 ア 同情できない イ 薄情だ ウ 興ざめである エ じめめである
(3)「引こうわい」 ア 貸してやろう イ 受け持とう ウ 説得してやろう エ 引き上げよう

問3 【A】【B】にあてはまる「人間の身体の部分を表わす語」の組み合わせとして最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア A 胸 B 腕 イ A あご B 腹
ウ A 肩 B ひざ エ A 眼 B 耳

問4 【C】【D】にあてはまる語の組み合わせとして最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア C じゅんじゅん D しとしと イ C しみじみ D ほろほろ
ウ C ぐいぐい D とうとう エ C こんこん D ふうふう

問5 I II にあてはまる語の組み合わせとして最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア I ましてや II そして イ I だからこそ II つまり
ウ I かしながら II さらに エ I しかるに II かえって

問6 部①「****」とあるが、備後が但馬を論じた内容として適切な順番になるように、次のア～オを並び替えなさい。

- ア 大名の家の家老ともなれば、過誤に怒らず他者の事情をくみとることがいっそう重要である。
イ 大名の家の家老ともなれば、常人よりも様々なことに考えが及ぶようではなくてはならない。
ウ 家の為には自分自身のことはいつでも投げ捨て、ことにあたる心構えがなくてはならない。
エ 誰でも勝手気ままに自分のこだわりを貫きたいものだが、そうしないことが世の中の道理である。
オ 自分自身のこだわりを優先するようでは、家を第一に考えているとは言えない。

問7 部②「****」とあるが、その理由として最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 事情も聞かず殴りつけられ悔しかったから。 イ 先代の如水からうけた恩義を思い出したから。
ウ 自分の無分別なふるまいを恥じittaから。 エ 備後との変わらぬ兄弟の絆が確認できたから。

問8 部③「****」とあるが、このような過程をふむむ主君長政の心情を表す言葉として最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 配慮 イ 逆上 ウ 呆然 ぼうぜん エ 恐怖

問9 本文の表現内容の説明として合致しないものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 会話文では簡易な古語と現代語を組み合わせることで、時代がかった表現でありながらも読みやすさを実現している。
イ 但馬の直情的なふるまいや怒声と備後の理性的な行動や説諭を対比的に描くことで、両者の人物像を描き分けている。
ウ 老臣二人の尋常でない言い争いが段々と沈静化する様子を、会話文では記号「！」を用いて効果的に表現している。
エ 但馬が脇差の切れの良さを極上の肴の味に喩えて丹波に勧める場面は、但馬の歩みよる姿勢への変化を象徴している。

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい（ただし設問の都合で本文を一部変更しています）。

※問題文は花里孝幸『生態系は誰のため?』より作成しました。著作権の関係により、掲載ができません。

※設問文の、著作権の関係により掲載ができない箇所は「****」と表記しています。

(注) ※1 生物群集 ある場所に生息する全生物を一つの集団とみなしたもの。

※2 天然痘 痘瘡ウイルスの感染によって起こる悪性の伝染病。

※3 環境因子 生物の生存、生活に影響を与える環境の条件。

問1 部 a～d について、カタカナは漢字に直し、漢字はその読みをひらがなで答えなさい。

問2 部「あまた」の文中の意味として最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 無名 イ 未完 ウ 多数 エ 稀有

問3 部①「****」とあるが、その理由として最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 環境イベントの多くは放流を行うだけで終わってしまうが、その後どのように環境が改善されたのかを確認しなければ意味がないと考えられるから。

イ 環境イベントの目的であるはずのことは達成されておらず、実際にはまったく反対の、環境破壊につながることを行っていると考えられるから。

ウ 環境イベントは子どもだけを対象に行うのではなく、専門家の意見をしっかりと理解できる大人も参加して行われなければならないと考えられるから。

エ 環境イベントの本来の目的は、子どもに環境保全への興味を持たせ、放流の是非を考える機会をつくることなくしてはならないと考えられるから。

問4 A に入る内容として最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア むやみに外来種を持ち込むのは感心しないことだ

イ 野生生物は自然に帰さなければならぬものだ

ウ 湖や川に魚を放流することはよいことだ

エ 生態系のバランスは変えても構わないものだ

問5 B、C に入る言葉として最も適切なものを次のア～オから一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ア 絶滅 イ 保護 ウ 区別 エ 繁殖 オ 退治

問6 部②「****」の具体的内容として最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 在来種を生存させるために、外来種を絶滅させなければならぬことはわかるのだが、筆者にとって外来種の植物も身近で親しみを持つものであり、強引に駆除されてしまうことにはさびしさを覚えるということ。

イ 駆除しなければならぬ外来種でも、子どもにとっては貴重な遊びの材料となるものであり、筆者が子どもの時に味わうことができた楽しさを、今の子どもたちからうばい取ることはどこか納得がいかないということ。

ウ 在来種の生存を危険にさらす外来種でも、大切な命であることには変わりなく、それを子どもたちに駆除させたりしては、命の大切さを学ぶ機会を奪ってしまうということに悲しみを感じるということ。

エ 外来種が勢力を伸ばして在来種の生存を危険にさらし、問題となっているのは理解できるのだが、すでに生態系の一部となった、人間の生活に影響を及ぼす害のない植物を駆除する必要はあるのかという疑いが残るということ。

問7 次の文は本文の(7)～(9)の段落から抜き出したものです。この文の入る場所を探し、直後に続く文の最初の三字を記しなさい。

問8

部③「*****」について説明した文の①、②に入る内容として適切な表現を文中から抜き出しなさい。ただし①は十七字、②は十字とします。

生態系は①るものであり、森林が衰退しても生物がそこに暮らしている以上、生態系が破壊されたのではなく、新しい②がつくられたと考えるべきだということ。

問9

部「*****」とあるが、なぜこのことが問題なのか。その理由について説明している箇所を本文中から二十五字以内で、解答欄の表現に続くように抜き出しなさい(句読点等は除く)